

# アンプロフェッショナルな学生の報告について

神戸大学医学部医学科教務学生委員会

2020年2月

神戸大学医学部医学科では、臨床実習においてアンプロフェッショナルな態度の認められた学生を、別途、教育指導いたします。「アンプロフェッショナルな学生」は以下のように定義します。

## アンプロフェッショナルな学生

診療参加型臨床実習において、学生の行動を臨床現場で観察していて、特に医療安全の面から、このままでは将来、患者の診療に関わらせることが出来ないと考えられる学生

患者さんの診療に現場であたる臨床医としての先生の視点で、今後この学生が臨床医になって診療に関わる上で、特に医療安全の面から、明らかに不適切と思われる態度や行動が見られた場合、その事例について次頁のフォーマットにできるだけ詳しく記述下さい。その際に、直接ご自身で観察された情報と間接的に得た情報とを可能な限り区別していただくようお願いいたします。なお、本評価は、大学の各診療科での臨床実習、学外病院での臨床実習の評価(合否判定)とは独立して運用します。この報告書を運用することにより、アンプロフェッショナルな学生の教育、指導に活かしたいと考えています。

英国および英連邦の国では同様の評価を”Fitness to Practice”と表現し、文字通り、「将来、診療に関わらせることが出来るかどうか？」を評価しています。尚、提出は、神戸大学医学部医学科教務学生係 ([kyomu1@med.kobe-u.ac.jp](mailto:kyomu1@med.kobe-u.ac.jp)) までお願いいたします。メールで提出される場合は、PW を必ずつけてください。

## 参考文献

1. Papadakis MA, Teherani A, Banach MA, et al. Disciplinary action by medical boards and prior behavior in medical school. N. Engl. J. Med. 2005;353(25):2673-2682.
2. Braatvedt C, Poole P, Merry A, Gorman D, Reid P, Bagg W. Fitness to practice of medical graduates: one programme's approach. N Z Med J. 2014 Nov 7;127(1405):70-7.

## 臨床実習学生の不適切な行為の例について

臨床実習の学生における不適切な行為については、処分や指導の対象となります。以下の例を参考にしてください。学生には、学外での実習のたびに実習前オリエンテーションで説明していますが、実習において以下に述べるような不適切な行為が行われた際には、教務学生係までお知らせください。

### <医療従事者として許されない行為>

患者に関する情報の守秘義務違反は、医学生であっても許されない行為です。

例えば、

- ・ カルテのプリントアウトを行い、放置する。
- ・ 患者データを USB メモリーに入れて院外に持ち出す。
- ・ Twitter®に「〇〇病院の〇〇内科で実習中なう。めっちゃ稀な〇〇病の患者さんの担当になったので勉強が大変」とツイートし、さらには Facebook®に友達限定で同じ内容をレントゲン写真つきでアップする。

などの行為は、その他の犯罪的行為と同様に、嚴重な処分や処罰の対象となりますので直接医学科教務学生係へお知らせ下さい。

### <その他のアンプロフェッショナルとみなされる行為の例>

上記以外にも、診療参加型実習において、将来医師になるものとしてふさわしくない（アンプロフェッショナル）とみなされる行為があります。以下の例は、国内外の大学医学部においてこれまでにアンプロフェッショナルと評価された行動を参考に、アンプロフェッショナルな学生とはどのようなものを理解していただく目的で作成されたものです。このような行動がみられた際には、報告用紙に記入し、医学科教務学生係に提出してください。

※注意：下記は特定の大学医学部医学科の実習の実例というわけではありません。

#### 【礼儀と基本的な挨拶および服装】

- ・ 頭髪が乱れ、白衣、靴が汚れており、不潔な印象がある。
- ・ 指導医、医療スタッフに対して、基本的な挨拶（おはようございます、ありがとうございました、すみません、など）ができず、十分なコミュニケーションもとれない。
- ・ 病状説明に同席させたところ、居眠りをしてしまい、患者さんが立腹した。

#### 【診療チームの一員としての責任感】

- ・ 初日の集合時間に連絡なく大幅に遅刻してきたのみならず、以後毎日、遅刻した。
- ・ 診療チームの一員として、毎朝、担当患者を回診して、9時からの指導医回診でその状況を報告する役割を与えているが、全く患者さんのところに行かない。
- ・ 実習中に所在不明な上に、PHS で連絡をしても繋がらない。メールに返事がない。

### 【不正行為】

- ・ 指導医回診で虚偽の報告を行った。
- ・ 遅刻して朝の回診ができなかったのに、午前中に診察したかのように電子カルテに記録した。

### 【指導医/教員の指摘を受け入れる姿勢】

- ・ 最終日に、レポートの内容が乏しいことを指摘すると、ふてくされた態度になった。
- ・ 無断欠席・遅刻に関して医学生としてふさわしくないことを伝えると、謝るところか、無言のままパイとそっぽを向いて部屋を出て行った。

### 【多職種との協働】

- ・ ナースステーション内でスマホゲームをしていたため、看護師が注意したところ、素直に従わないどころか、「看護師のくせに偉そうなことを言うな」と逆ギレした。

### 【社会的カテゴリーに基づく差別】

- ・ 態度が悪く、患者さんからクレームが来た。そのことを学生に伝えると、「生活保護の患者は大学病院に来なくていい」と発言した。
- ・ 「あいつら〇〇人って、やっぱり変」と、ナースステーションで、患者さんに声が聞こえることも気にせず大声で発言した。

### 【感染予防】

- ・ 発熱したにもかかわらず、臨床実習に出席し、担当患者を毎日訪室し、後にインフルエンザと診断された。